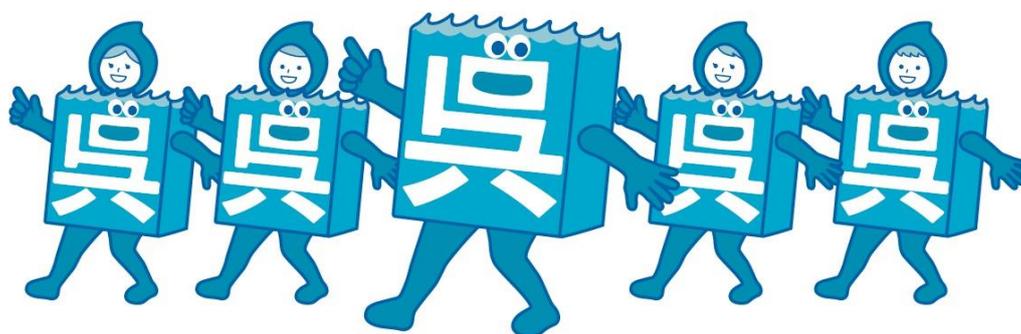


ゆ め づ く い
事 例 集



2020

編集：呉市

「ゆめづくり事例集2020」を作成しました。

それぞれのまちづくり委員会等において、特色ある資源を活かした地域の活性化や、地域の皆さんが抱える課題の解決に向けて、何をしたらいいか、また、どのように工夫すればいいかなど、地域の皆さん自身が考え、行動されている様子を紹介しています。

今年度は、コロナ禍により、多くの事業が中止になりましたが、その中でも、地域の皆さんが新型コロナ感染拡大防止策を講じ、工夫されて実施された事業もあります。

地域の皆さんの手で育まれ、さらに地域の絆が強まるとともに、より一層、様々な広がりを見せているこれらの事例をご覧いただき、自分たちの取組と比べてみたり、新しい取組を考える際のヒントにしたりと、大いに活用していただければと思います。

ゆめづくり事例集2020 目次

No	事業名	団体名
1	むかし遊び体験会	第2地区まちづくり委員会
2	第3地区冬まつり	第3地区まちづくり委員会
3	コロナ禍に配慮した防災訓練	第5地区まちづくり委員会
4	荘山田村自然公園プロジェクト	第6地区まちづくり委員会
5	ふれあいサロン事業	第8地区まちづくり委員会
6	ふれあい広場三条運営事業（地域活動支援事業）	ふれあい広場三条の会
7	地域住民・両城小学校生徒合同防災訓練	三条地区自主防災会連合会
8	中央地域「成人の日」記念式典	中央地域成人式実行委員会
9	令和2年度 吉浦地区成人式	吉浦まちづくり委員会
10	令和2年度 警固屋地区成人式	警固屋地区社会福祉協議会
11	令和2年度 阿賀地区「成人の集い」	阿賀まちづくり推進協議会
12	まちづくり若者提案事業	阿賀まちづくり推進協議会
13	第72回 広地区教育祭	広まちづくり推進協議会
14	宮原ホタルの里開放事業・ホタルんクラブ活動	宮原地区まちづくり推進委員会
15	天応町納涼花火大会	天応まちづくり委員会
16	ウインターコンサート	天応まちづくり委員会
17	お月見会	昭和地区文化団体連合会
18	ロビーピアノ in Showa	NPO法人 昭和地区まちづくり協議会
19	季節のイベント（ロビークリスマス in Showa）	NPO法人 昭和地区まちづくり協議会
20	ふれあい・いきいきサロン	郷原町まちづくり推進委員会

No	事業名	団体名
21	郷原町花火大会	郷原町まちづくり推進委員会
22	令和2年度 呉市下蒲刈地区成人式	下蒲刈地区自治会連合会
23	交通安全テント村及び交通安全キャンペーン	下蒲刈地区交通安全推進協議会
24	かわじり元気花火	川尻町元気まつり実行委員会
25	音戸ふれあい朝市	音戸町まちづくり協議会
26	くらはし観光ボランティアガイドの会ジュニアクラブ養成事業	宝島くらはしまちづくり協議会
27	くらはしお宝朝市	宝島くらはしまちづくり協議会
28	令和2年度 蒲刈地区成人式	蒲刈地区自治会連合会
29	安浦町地域博物館事業	安浦町まちづくり協議会
30	コンクリート船武智丸パンフレット作成事業	安浦町まちづくり協議会
31	伝統的料理の教室	豊浜町まちづくり協議会
32	歩け歩けウオーキングコース	豊浜町まちづくり協議会
33	農業・漁業体験事業	豊浜町まちづくり協議会
34	ふれあい・いきいきサロン・敬老会・ちょっとてご助成事業	豊浜町まちづくり協議会
35	豊町成人式	豊町まちづくり協議会

※市内で取り組まれたまちづくり活動234件（令和2年度当初件数）のうち、代表的な事業35件を紹介しています。

番号	1	団体名	第2地区まちづくり委員会	代表者	城 健康
事業名	むかし遊び体験会			事業費	20,000円
事業の目的	<p>子どもにとって安全・安心なまちづくりを実現するためには、地域の絆を深めるとともに、地域ぐるみで児童の健全育成活動を推進する必要があります。その活動の一環として、和庄小学校の1年生が地域の人に昔の遊びを教えてもらい体験することで、地域との交流を持ち、地域の人と顔なじみになり、日頃の挨拶も活発に行われるなど、子どもを取り巻く環境や安全に対する住民の意識も高まるものと考えられます。子ども達が地域の人々と豊かな関係性を持って成長することを目指します。</p>				
事業概要	<p>日 時：令和2年11月10日（火） 10時40分～12時 場 所：和庄小学校体育館・校庭 内 容：①紙飛行機，②けん玉，③お手玉，④竹とんぼ，⑤コマ回し， ⑥かんぼっくりの6種類の昔遊びを体験しました。 参加者：約100名（子どもが約50名参加）</p>				
企画・実施した人	<p>平成25年度から3年間、和庄小学校区の第2地区及び第3地区まちづくり委員会が連携事業として、市民ゆめ創造事業交付金（地域間連携推進事業）を財源に実施しました。平成28年度からは第2地区まちづくり委員会の単独での単独イベントとして実施しています。</p>				
苦労した点	<p>新型コロナウイルス感染症対策</p>				
活動状況					
活動の成果	<p>当行事を子どもたちは楽しみにされており、どのむかし遊びも、子どもたちの笑い声が絶えませんでした。 子どもと地域が遊びをとおして、交流を深めることができました。</p>				

番号	2	団体名	第3地区まちづくり委員会	代表者	齊藤 晴彦
事業名	第3地区冬まつり			事業費	約420,000円
事業の目的	<p>合同防災訓練や交通安全教室を兼ねた複合イベント「冬まつり」を実施することで、安全安心なまちづくりの推進及び公的機関との連携強化による地域力向上を目指します。</p> <p>また、地域の伝統文化である「とんど」を通じて、地域住民の絆を深めるとともに、地域への誇りや愛着の醸成を図ることを目的としています。</p>				
事業概要	<p>平成22年度に30年ぶりに復活を果たした「とんど焼き」を中心とした地域の子供と大人の交流を図る事業で、今年度は11回目にあたります。交通・防犯教室や合同防災訓練も兼ねており、多世代間の交流と合わせて地域の安全性向上に務めることで、他者への思いやりに富んだ魅力的なまちづくりを推進しています。</p> <p>授業の一環として本通小学校の児童も事業に取り組んでおり、4年生は防災に関する学習成果の発表、6年生はミニとんどの作成を行っています。</p> <p>日時：令和3年2月7日（日）8時20分～12時 場所：本通小学校グラウンド、体育館、理科室等 参加者：281名 合同防災訓練：防災グッズ展示説明、防災用簡易ベッド及び仕切り作成、負傷者搬送訓練、ロープワーク訓練</p>				
企画・実施した人	<p>企画：第3地区まちづくり委員会役員・地域文化の伝承部会 実施：第3地区自治会連合会・本通小学校 第3地区防災リーダー・地域内外の有志 呉市職員</p>				
苦労した点	<p>とんど製作を行うにあたり、早期からの材料調達や安全に留意した作業及び設計に努めました。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、消防署等からの派遣を受けることが困難な中で、防災用簡易ベッドの作成等地域の住民のみで取り組める計画を立てて実施に結びつけました。</p>				
活動状況	 <p>防災用簡易ベッド作成 事前講習会</p>		 <p>6年生によるとんど製作</p>		
	 <p>4年生による防災に関する学習成果発表</p>		 <p>とんど焼きの様子</p>		
活動の成果	<p>今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、餅つき大会や交通安全教室、ぜんざいやとん汁の炊き出しを中止し、一般の参加者の入場をお断りする等、例年と違う形での開催となりました。しかしながら、まちづくり委員会をはじめ各自治会の防災リーダー、本通小学校の先生や児童が協力して作り上げる新しい形の「冬まつり」として、第3地区の魅力を一層高めることができたと感じています。</p>				

番号	3	団体名	第5地区まちづくり委員会	代表者	土本 敏明
事業名	コロナ禍に配慮した防災訓練			事業費	約1,130,000円 (訓練, 備品合計)
事業の目的	<p>第5地区は、市内中心部から灰ヶ峰中腹にわたり南北に細長く広がる地域で、急峻な地形が複数の河川や谷などを形成しており、また急勾配で狭い道路も多く、災害時の避難や物資の搬送などに不安を抱えています。</p> <p>このような中、住民アンケートで最も関心の高かった「防災」に対する意識を高めるとともに、実際の災害時における行動を想定した「体感」シミュレーションを行うため、地域内を学校区ごとの2ブロックに分けて総合防災訓練を行いました。</p>				
事業概要	地区	荘山田小学校区		明立小学校区	
	日時	令和3年2月21日(日)		令和3年2月23日(火・祝)	
	場所	荘山田小学校		明立小学校	
	参加者	約60名 自治会長, 女性会役員 民生委員児童委員, 防災リーダー		約40名 自治会長, 女性会役員 民生委員児童委員, 防災リーダー	
	内容	避難所運営訓練			
	<p>・防災用品収納倉庫：H23：4か所新設，1か所改修（旧辰川小体育館下倉庫） H24：5か所新設 H25：2か所新設・1か所共用（4自治会は自治会で倉庫を設置済み），炊き出し用釜2セット購入 H26：炊き出し用釜2セット，大型扇風機10台，発電機2台，会議机29台購入 H27：大型ストーブ4台購入 H28：テント29台購入 H29：リヤカー7台，担架10台，車いす4台，大型扇風機4台購入 R 元：避難所用簡易テント4台，非常食1,000食備蓄 R 2：新型コロナウイルス対策用物品購入（非接触型体温計，消毒用アルコール，アクリルパネルほか） 小型発電機（燃料：ガスボンベ使用）</p>				
企画・実施した人	まちづくり委員会内の「安心して住めるまちづくり部会」の事業として、学校区ごとに実行委員長を決め、実行委員長の指揮のもと、会場や物品の準備、当日の運営などを行いました。				
苦労した点	<p>コロナ禍での防災訓練ということで、例年とは異なり、参加人数を限定し、受付方法や会場の配置などにも配慮しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、コロナ禍においてどのように避難所を運営するか、参加者に少しでも興味を持ってもらえるよう工夫しました。</p>				
活動状況	 <p>受付の様子</p>		 <p>新型コロナウイルス感染対策</p>		
	 <p>講話の様子</p>		 <p>避難所設営訓練</p>		
活動の成果	<p>毎年、繰り返し防災訓練を実施することで、防災意識の向上につながっています。また、コロナ禍での避難所の設置方法、受付から避難所への動線などを参加者全員で確認し、非常時における対応の習得となっています。</p>				

番号	4	団体名	第6地区まちづくり委員会	代表者	藤本 勝彦
事業名	荘山田村自然公園プロジェクト			事業費	約120,000円
事業の目的	地域の遊休地整備を行い、かつてどこの地域でもあった「里山」の復活を目指すことで、自然の大切さを地域で共有します。地域の宝として整備した自然公園を大切に、子どもたちに自然を感じてもらいながら、世代間交流を図るとともに、地域に愛着を持ってもらうことを目的としています。				
事業概要	<p>環境保全活動や自然体験活動などを通じ、自然とふれあい、その大切さを地域内で共有する取り組みです。昔は田畑があり手入れされていましたが、遊休地となっている土地を、眺望が素晴らしい隠れた地域の名所として復活させるため、150本ほどの数種類の桜を植え、開花時期の違いから四季を通じて桜を楽しめる自然公園として整備しています。</p> <p>場 所：江原地区一体の丘の上 会 議：毎月第3木曜日 現場整備：毎月第4土曜日午前中 イベント：(春)3月「里山 春の感謝祭!2020」 → 88名参加 (秋)11月「里山 秋の感謝祭!2020」 → 55名参加 イベントは、春・秋に毎年開催。 広 報：毎月発行する地域コミュニティ紙「今ドキっかわらばん」に掲載</p>				
企画・実施した人	まちづくり委員会内の荘山田村自然公園プロジェクトが中心となって企画立案するとともに、社会福祉法人かしの木や事業に賛同する人たちが協力して作業に当たります。賛同する方々には、ボランティア登録をしてもらい、公園整備に参加してもらっています。				
苦労した点	毎月定期的に会議を行い、作業内容等を確認し公園整備を行っていますが、近年はイノシシによる被害が大きくなっています。6月～9月は活動開始時間を早め、作業時間を短縮するなど、炎天下時の活動にも留意しています。				
活動状況	 <p>フジバカマを植えました</p>		 <p>アサギマダラが飛来しました</p>		
	 <p>里山 秋の感謝祭!2020</p>		 <p>秋から冬に咲く桜もあります</p>		
活動の成果	荘山田村自然公園プロジェクト10年目となる取り組みとして、フジバカマを植えアサギマダラの飛来を計画しました。5月にフジバカマを植え、10月にはアサギマダラの飛来を確認できました。マーキングにも挑戦することができ、他地区からも見学に訪れる方がいました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながらの活動となりましたが、新たな魅力のひとつになったと感じています。				

番号	5	団体名	第8地区まちづくり委員会	代表者	宮中 勇
事業名	ふれあいサロン事業			事業費	約220,000円
事業の目的	高齢者の社会的孤立を解消し、地域住民との交流やふれあい・生きがいづくりを通じて、元気に安心して暮らせる居場所づくりを目的とする。				
事業概要	<p>内 容： カラオケ教室 場 所： 東愛宕自治会集会所 日 程： 週4回の開催 実 績： 4月 0回 5月 0回 6月 9回 7月 18回 8月 4回 9月 0回 10月 0回 11月 8回 12月 0回 1月 0回 2月 8回 ※16日から再開</p> <p>その他：平成25年度からの継続事業</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>※新型コロナウイルスの感染状況に応じた中止有り。また、実施の際には、飛沫拡散防止シートの設置や、アルコール消毒の徹底など、感染拡大防止策を講じた。</p> </div>				
企画・実施した人	まちづくり委員会が企画立案し、各自治会が受付等の当番を担う。				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止策 ・当番の担い手の確保 ・参加者数の確保 				
活動状況	   				
活動の成果	<p>11月は、1日平均6.8人の参加があった。 コロナ禍で閉塞感が漂う中、歌や交流を楽しむ居場所となった。 今後はカラオケ教室以外の取組についても検討していく。</p>				

番号	6	団体名	ふれあい広場三条の会	代表者	力安 鈴子
事業名	ふれあい広場三条運営事業（地域活動支援事業）			事業費	約770,000円
事業の目的	<p>誰もが気軽に集える「ふれあい広場」は、三条商店街の空き店舗をふれあい広場三条の会が借り受け、平成24年9月に開設。まちづくり委員会が家賃を支出、整備や運営はすべてふれあい広場三条の会のボランティアスタッフが当たる手作りの施設です。</p> <p>季節毎のイベントも開催され、まちづくり計画に掲げた地域課題を解決するための各事業をこの広場で実施し、「住んでよかった、いつまでも住み続けたい両城・三条地区」にしていきたいと頑張っています。</p> <p><u>何よりもボランティアスタッフの皆さんが、いきいきとやりがいを感じ、楽しんで運営されておられます。</u></p>				
事業概要	<p>場所：呉市三条2丁目15-20「毛糸きくや」跡の空き店舗 （平成24年9月8日オープン）</p> <p>活動時間：毎週月曜日～土曜日（日曜・祝日は休所日）10時～16時30分</p> <p>面積：（間口）3m×（奥行）12m＝約36㎡（約11坪） 家賃 3万円/月</p> <p>利用料金：無料（お茶無料、コーヒー100円、かき氷100円（夏季限定）で提供） 誰でも無料で利用できる無料休憩所</p> <p>運営体制：1日3人のボランティアにより運営（合計19人役/週）</p> <p>メンバー：三条まちづくり委員会会員、各自治会関係者、民生児童委員、赤十字奉仕団会員、運動推進委員、一般住民など</p> <p>利用実績：最近の利用人員 月平均 500人、一日平均 25人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平日はお茶や弁当をいただきながらの気まぐれおしゃべり会 ・男性陣は囲碁や将棋の腕試し ・放課後と土曜日は、子ども（小学生）の居場所 <p>イベント：4月…お花見会 6月…七夕飾りづくり 7月…夏祭り （例年） 10月…ハロウィン 12月…クリスマス会 2月…節分豆まき 3月…震災を忘れないために11コンサート</p> <p>その他、定期的に「うた声広場」、「らくらく体操教室」、「手芸教室」などを開催 ※今年度は、新型コロナ感染拡大防止の観点から、イベント等中止・縮小しています。</p>				
企画・実施した人	<p>ふれあい広場三条の会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰でも（特に高齢者）が立ち寄れる場所を切望していた地域の有志数名 ・ふれあい広場を開設するにあたり、「ふれあい広場三条の会」を設立 ・まちづくり委員会から財政支援（家賃と平成25年度限定で空調やパソコン整備）と人的支援を受けています。 				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大の影響による感染防止対策（3密対策・消毒等） ・まちづくり委員会との協力体制の構築 ・常駐するボランティアスタッフの確保（後継者の確保） ・自主財源の確保 				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ハロウィン</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>クリスマス会</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>節分豆まき</p> </div>				
活動の成果	<p>地域の誰もが自由に立ち寄り、交流できる場を提供する目的として会を立ち上げ、今では、高齢者が、地域の中での人とつながり、安心して暮らしていくための「よりどころ」として利用し、放課後には子どもたちが集う憩いの場になっています。</p>				

番号	7	団体名	三条地区自主防災会連合会	代表者	山上 文恵
事業名	地域住民・両城小学校生徒合同防災訓練			事業費	約150,000円
事業の目的	<p>毎年、地域住民と小学生と合同で実施することにより、一人ひとりの防災意識を高めると共に、地域住民の絆を強め、共助しやすい街にすることを目的として防災訓練を行っています。</p> <p>急傾斜地を多くかかえるまちだけに、防災をまちづくりの柱の一つに位置づけ、地域のみんなで災害時の対応の問題点を洗い出すことで、より多くの命が助かるよう、住民の危機管理意識を育てています。</p> <p>一昨年度までは、消火器や水消火器による消火訓練、煙中体験、ロープ結索訓練、人口呼吸等の救急・救命訓練、簡易担架による搬送訓練など5つの訓練に取り組み、昨年度は、平成30年7月に豪雨災害があったことから、自分達が住んでいる地域特有の危険箇所や過去の災害を知ってもらうため、まち歩きを行いました。</p>				
事業概要	<p>日 時：令和2年10月3日（土） 9時30分～11時30分</p> <p>参加者：両城小学校生徒及び教諭 135名、地域住民 107名、消防団・二川児童館・市役所 14名の計256名</p> <p>内 容：「地震・津波・コロナ禍での防災訓練」</p> <p>地震が発生し、その影響で津波が起こったと想定し、小学校に集合し高台へ避難しました。</p> <p>また、コロナ禍での訓練ということで、お互い間隔をあげ、密にならないよう一列になり歩いて避難しました。</p> <p>高台に避難されなかった方々は、小学校において、危機管理課職員による「三角巾・風呂敷の利用」「非常用トイレの作り方」の講話を聞きました。</p>				
企画・実施した人	三条地区自主防災会連合会				
苦勞した点	<p>自治会と学校を中心に広報して、小学生から高齢者まで多くの人に参加してもらっています。</p> <p>今年度は、新型コロナ感染拡大防止も考慮し、3密にならないよう人と人との間隔をあげたり、訓練時間を短くしました。</p>				
活動状況	 <p style="text-align: center;">防災訓練の様子</p>				
活動の成果	<p>小学校が地域の避難所になっており、自宅から小学校までの所要時間の確認や、高台までどのルートで行くか、危険な場所はないかなど、地域に住む住民自身が、地域の防災情報を共有して、災害時には慌てず冷静に素早く安全に避難ができるように考えてもらうことが出来ました。</p>				

番号	8	団体名	中央地域成人式実行委員会	代表者	大島 正 (令和2年度)
事業名	中央地域「成人の日」記念式典			事業費	1,056,000円
事業の目的	<p>新成人が生まれ育った地域の方々（祝う人）と新成人（祝われる人）の「顔と顔の見える」・「より心の通った」ものに移行・発展させていくため、本庁管内は9つの自治会連合会と海上自衛隊呉海曹会が合同で実行委員会を立ち上げ、地域協働課や文化振興課などの市役所の関係部署も一緒になって協働という形をとりながら開催しています。</p>				
事業概要	<p>日時：令和3年1月11日（月・祝） 11時～11時30分 場所：新日本造機ホール 内容：①記念式典 参加者数 246名（男112名，女134名） 参加率 44.8%（自衛隊を除く参加率72.4%） 成人リーダーの役割：司会進行，記念品・花束贈呈の授与， （新成人） はたちの誓い等 ②はたちの大抽選会（中止） 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，成人リーダーのみで， 式典参加者を対象に小規模の抽選会を実施。抽選結果は，記念品 発送をもっての発表とした。 成人リーダーの役割：企画・記念品選定・抽選の実施等 ③地区別おもてなし（中止） 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，例年実施している 飲食提供ブースを中止。各地区別に，新成人に対して記念品 を贈呈するなど，別のかたちで新成人を祝った。</p>				
企画・実施した人	<p>中央地域成人式実行委員会 （中央地域の9つの自治会連合会，海上自衛隊呉海曹会，呉市）</p>				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> ・開催の判断 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止策 ・報道陣への対応（式典当日） 				
活動状況	<p>式典の様子</p> <p>式典準備（成人リーダー）</p>				
活動の成果	<p>コロナ禍での開催に対して，賛否両論ありましたが，式典終了後，開催に対して新成人から喜びの声が多数寄せられました。また，式典関係者，参加者ともに新型コロナウイルス感染者数は0でした。地域が若い世代を大切にするメッセージが伝わったと推測できます。委員長をはじめとする実行委員会の判断及び準備，成人リーダーの協力など，協働という形の成功例といえると思います。</p>				

番号	9	団体名	吉浦まちづくり委員会	代表者	引地 禮三
事業名	令和2年度 吉浦地区成人式			事業費	約500,000円
事業の目的	多くの地域住民が成人を迎えた若者を祝い励ますことを第一の目的とし、併せて式典を通じ新成人に地域への帰属意識や、住民自治による地域社会の運営に少しでも関心をもってもらう。				
事業概要	<p>日 時：令和3年1月11日（月、成人の日）</p> <p>事業内容：地域成人式 (1) 式典の部 (2) 記念撮影の部</p> <p>参加者数：新成人 55名 保護者 42名 運営スタッフ等 55名 合計 152名</p>				
企画・実施した人	吉浦まちづくり委員会				
苦労した点	<p>コロナ禍の中、多くの地区が続々と中止や延期を決定していきました。吉浦地区では、12月23日にまちづくり委員会の緊急役員会を開催し、呉市の方針どおり、広島県内の感染状況がステージ4となる等、やむを得ない場合を除き予定どおり実施することで意思統一を行いました。</p> <p>また、コロナ対策を万全に密にならないよう、広い吉浦小学校体育館を借用したため、椅子や紅白幕等の持ち込みや撤収作業が大変でした。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>スタッフを含め、参加者全員の検温・消毒を行いました</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>受付スタッフ等は、フェイスガードを装着しました</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>国歌・呉市歌斉唱は、声を出さずに心の中で！</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>お忙しいところ駆けつけて下さった市長さんやまちづくり委員会の役員さんと記念撮影 良い思い出になりました</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>困難な状況の中、地域力を結集して成人式を開催できたことは、今後の地域活動の大きな支えになるものと考えます。また、新成人やご家族の方々からは、「開催してくれてありがとう」との声が多く聞かれました。</p>				

番号	10	団体名	警固屋地区社会福祉協議会	代表者	中本 和成
事業名	令和2年度 警固屋地区成人式			事業費	約90,000円
事業の目的	警固屋地区の未来を担う青年の20歳という人生の節目に、地域住民をあげて祝福し、成人としての自覚を促すとともに、新成人の将来の幸せを祈念する。				
事業概要	<p>日 時：令和3年1月10日（日）</p> <p>事業内容：地域成人式 (1) 式典 (2) 記念撮影 (3) はたちの同窓会</p> <p>参加者数：新成人 22名 来賓 6名 運営スタッフ等 24名 合計 52名</p>				
企画・実施した人	警固屋地区社会福祉協議会				
苦勞した点	<p>コロナ禍で多くの地区が中止や延期を決定する中、警固屋地区社協では、正副会長会議を開催し、呉市の方針どおり、広島県内の感染状況がステージ4となる等、やむを得ない場合を除き予定どおり実施することにした。</p> <p>また、コロナ対策（検温・消毒・換気）を万全に、来賓を含めて参加人数を減らし、新成人の席の間隔を1.5メートル以上広くした。</p> <p>さらに、例年2時間程度の会であるが、40分の時間短縮を図った。</p>				
活動状況	 <p>来場者の検温・消毒を行いました</p>		 <p>受付は、アクリル板を設置しました</p>		
	 <p>生まれ育った警固屋で、同級生と再会することができ、大変嬉しく思います</p>		 <p>恩師の先生方や同級生達と記念撮影</p>		
活動の成果	開催が厳しい状況の中ではあるが、一生に一度の会である。参加人数を減らし、消毒や受付等、地元の皆さんの協力で、無事に成人式を開催する事が出来た。「警固屋の子で良かった。」「友達と会えた事が一番嬉しい。」という声も多く聞かれた。				

番号	11	団体名	阿賀まちづくり推進協議会	代表者	加藤 忠二
事業名	令和2年度 阿賀地区「成人の集い」			事業費	400,000円
事業の目的	阿賀地区在住及び阿賀地区出身の新成人を祝うため、記念式典を実施する。				
事業概要	<p>日時：令和3年1月11日（月・祝）11時～</p> <p>場所：阿賀中学校体育館</p> <p>内容：記念式典 国歌斉唱 主催者挨拶 はたちの誓い（新成人より男女各1名） 呉市歌斉唱</p> <p>記念写真撮影（集合写真）</p>				
企画・実施した人	阿賀まちづくり推進協議会				
苦労した点	阿賀まちづくり推進協議会が実行委員として開催しており、今年度はコロナ禍の中、感染予防のための消毒の設置や3密を避けるための式場の配置など工夫した。なお、アトラクションやはたちの同窓会は自粛し、式典規模を縮小した。				
活動状況					
活動の成果	新成人にとって、一生に一度の行事であったため、中止・延期がささやかれる中、無事実施できて良かった。新成人や関係者の方々にも喜ばれ、阿賀町民みんなで新たな門出を祝うことができた。				

番号	12	団体名	阿賀まちづくり推進協議会	代表者	加藤 忠二
事業名	まちづくり若者提案事業			事業費	200,000円
事業の目的	<p>まちづくり若者提案事業では、AGAiN(呉工業高等専門学校生徒や原小学校児童)が中心となって、阿賀まちの歴史やお宝を発掘しながら地域との交流を図っています。これまでも「阿賀の疑問Q&A」の発行や「ARマチアルキマップ」の作成などを通して、阿賀まちの再発見に努めてきました。今回、阿賀歴史文化研究会とコラボし、阿賀まちの古い写真を元に、ドローンを使って今の阿賀まちと、昔の町並みを比較し、阿賀まちの発展経過を記録に残す取り組みを行いました。</p>				
事業概要	<p>コロナ禍で、地域との交流が難しい中、呉工業高等専門学校生としての知識を生かし、ドローンを使用し空中写真の撮影を行いました。阿賀歴史文化研究会が収集した古い阿賀まちの写真を、現在の位置と照らし合わせ、できる限り近い位置を割り出し、ドローンでの撮影に成功しました。</p> <p>今回の事業をさらに発展させるべく、地域に眠っている古い阿賀まちの写真の募集も始めました。</p>				
企画・実施した人	<p>阿賀まちづくり推進協議会 (AGAiN(呉工業高等専門学校生徒)、阿賀歴史文化研究会)</p>				
苦労した点	<p>町並みの変化により、同じ場所での撮影ができないため、ドローンの撮影位置・場所の決定に苦労した。また、古い写真がいつ頃の写真なのかわからないため、阿賀歴史文化研究会の知見により予測するしかなかった。</p>				
活動状況					
活動の成果	<p>阿賀まち発展の変化を知る事ができ、また古い写真では、阿賀町民に地域の歴史を見直すきっかけとなり、ふるさと再発見につながった。</p>				

番号	13	団体名	広まちづくり推進協議会	代表者	吉井 光廣
事業名	第72回 広地区教育祭			事業費	3,400,000円
事業の目的	<p>広村の先人が遺した旧広村公会堂前（現・広小学校）にある「教育第一」の石碑の精神を受け継ぎ、昭和24年から開催。「学ぶ・創る・楽しむ・夢がひろがる」をスローガンに、世代を問わず、文化行事からスポーツまで地域を挙げて行う伝統行事。</p>				
事業概要	<p>例年、11月のおよそ1か月間をかけて、作品展示や舞台発表、教育功労者表彰式、交流広場などを開催するが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、作品展示と教育功労者表彰式のみ開催。 また、膺懲碑の移設を行い除幕式を実施。</p>				
企画・実施した人	<p>主催：広まちづくり推進協議会 共催：呉市 主管：広地区教育祭実行委員会ほか ※イベントごとに実行委員会設立 後援：呉市教育委員会 ※その他、協力・協賛団体あり</p>				
苦労した点	関係団体との連絡調整，参加者（団体）の事前準備				
活動状況	<p>■教育功労者表彰式 11月23日（月・祝） 広地区の教育文化の向上に寄与した個人・団体を表彰する式典。今年は個人10名と団体1団体を表彰した。</p>  <p>■児童・生徒の作品展を1階市民ギャラリーで開催した。</p>  <p>■膺懲碑移設除幕式を実施した。</p>  				
活動の成果	<p>教育功労者表彰式では、自治会長，女性会，民生委員児童委員などが出席した。それぞれの分野で活躍されている方を表彰するため，広地区全体の活性化につながっている。 今後は，若い力を取り入れた行事を計画し，広地区の魅力を多くの方に発信していく。</p>				

番号	14	団体名	宮原地区まちづくり推進委員会	代表者	阪井 昌行
事業名	宮原ホタルの里開放事業・ホタルんクラブ活動			事業費	70,000円
事業の目的	<p>地域内を流れる神原川のきれいな水を利用し、神原公園の一部と隣接する森と湿地をホタルの育成地として地域住民によって整備した「宮原ホタルの里」を、ホタルが羽化する6月にどなたでも観賞できるように開放するとともに、ホタルの里を宮原地区の宝として、広くPRするため「宮原ホタルん」をイメージキャラクターとして活用。また子ども達の発案による「ホタルんクラブ」により幼虫を育成し、維持していくことを目的とする。</p>				
事業概要	<p>平成22年に呉市の「まち普請事業」や平成24年に第一生命と都市緑化機構の「緑の環境デザイン賞」を受賞し、交付金や助成金で神原公園に隣接する湿地（約600㎡）の整備や神原公園内の小川とホタルの幼虫・メダカなど小生物のすみかとなる池の築造やあじさいの植樹を行うなど、多くの町民ボランティア及び地元の小中学生の協力を得ながら、平成25年3月末に「宮原ホタルの里」は完成した。毎年、地域住民、地元小・中・高校生と連携し行事や清掃等を実施している。</p> <p>令和2年度は、下記のとおり行事等を実施した。</p> <p>（6月 6日～21日）ホタルの里観賞会 ※中止 （6月 6日） 観賞会オープニングセレモニー ※中止 5月27日 ホタルの里清掃活動 7月29日 アジサイ剪定</p> <p>また、平成29年度に誕生したご当地キャラ「宮原ホタルん」を活用しホタルの里をPRするため、イベント参加やグッズの作成を行ったり、子ども達の発案により「ホタルんクラブ」を結成、子どもまちづくり事業の助成を受けながら、子ども達でホタルを養殖し、育てた幼虫をホタルの里に放流して地域ぐるみで里の維持活動を行っている（令和2年度は活動休止）。</p>				
企画・実施した人	<p>宮原地区まちづくり推進委員会が中心となって、自治会連合会等の地元団体や地元小中学校などの協力を得て行った。 引き続き地元の住民や小中学生の協力を得ながら管理運営を行う。</p>				
苦労した点	<p>宮原の「宝」としてホタルの里を伝承していくためにも後継者育成が急務とされているが、若い世代の人材不足で思うように進んでいない。 宮原地区以外の方に、ホタルの里の存在や活動が十分周知されていないため、PRに苦労している。</p>				
活動状況	 <p>ホタルの里清掃活動</p>		 <p>アジサイ剪定</p>		
	 <p>ホタルの里観賞会（昨年度の様子）</p>		 <p>「ホタルんクラブ」活動（昨年度の様</p>		
活動の成果	<p>学校との連携も深まり、宮原地区に住む子どもからお年寄りまで幅広く活動が周知され、定着しつつある。</p>				

番号	15	団体名	天応まちづくり委員会	代表者	友井 輝道
事業名	天応町納涼花火大会			事業費	約311,000円
事業の目的	<p>平成23年に地域の皆さんの熱意で復活した「天応町納涼盆踊り大会」は、新型コロナウイルスの影響で令和2年は実施できなかったため、例年盆踊り大会の中のイベントとして実施していた花火のみを呉ポートピアパークで実施した。</p> <p>今回も約75発の花火を打ちあげ、新型コロナウイルスの終息を願うとともに、天応町民へ癒やしと元気を届ける。</p>				
事業概要	<p>日時：令和2年8月8日（土）20時～20時30分</p> <p>場所：呉ポートピアパーク</p> <p>内容：打ち上げ花火（75発）</p>				
企画・実施した人	<p>天応まちづくり委員会の四役会議で企画立案し、まちづくり委員会のメンバーである消防団や呉ポートピアパーク友の会が協働し、事業の一部を委託して運営に当たった。</p>				
苦労した点	<p>新型コロナウイルス感染拡大につながらないように、直前にチラシの掲示により住民に周知した。</p> <p>運営に当たっても、マスク等を着用し、密にならないような工夫をした。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>花火を観賞する地域住民</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>警戒活動</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>夜空を彩る花火</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>花火大会チラシ</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>新型コロナウイルスの影響で、各種行事への参加機会が奪われた天応町民の心に、癒やしと活力を与えることができた。</p>				

番号	16	団体名	天応まちづくり委員会	代表者	友井 輝道
事業名	ウインターコンサート			事業費	約34,000円
事業の目的	毎年12月に開催するコンサートであり、ソプラノ・マリンバ・ピアノのアンサンブルが奏でる調和した旋律や歌声により、天応町民に憩いのひとときを味わってもらおう。				
事業概要	<p>日時：令和2年12月19日（土）13時30分～16時</p> <p>場所：天応まちづくりセンター 3階ホール</p> <p>内容：マリンバ・パーカッション、ソプラノ／ボーカル、ピアノによるクリスマスソングメドレー 他</p> <p>2部制</p> <p>参加者：51名（出演者3名、スタッフ2名を含む）</p>				
企画・実施した人	天応まちづくり委員会の四役会議において企画立案するとともに、天応まちづくりセンターのスタッフを中心として、コンサート会場などの設営や運営を行った。				
苦労した点	新型コロナウイルスの感染拡大防止の対策として、来場者等に体温測定、手指消毒、マスクの着用、名簿記載を促し、マイクにシールドを設置するなどした。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">1部 クラシック・冬メドレー（唱歌）他</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">2部 クリスマスメドレー</p> <p style="text-align: right;">ウインターコンサートチラシ</p>				
活動の成果	新型コロナウイルスの影響で、各種行事への参加機会が奪われた天応町民の心に、音楽の力で、癒やしと活気を与えることができた。来場者からは、喜びの声が聞かれた。				

番号	17	団体名	昭和地区文化団体連合会	代表者	大藤 周司
事業名	お月見会			事業費	430,000円
事業の目的	昭和地区の文化団体相互の親睦を図るとともに、地域住民と一緒に秋の風情を感じながらステージや展示を楽しむ。				
事業概要	<p>日 時：令和2年10月3日（土） 17時20分～20時</p> <p>場 所：昭和まちづくりセンター1階ロビー及び3階ホール</p> <p>展示発表：草月流呉教室</p> <p>舞台発表：オープニングでは所属団体であるコールエコーの弾き歌のもと、裏千家大田教室によるお茶礼式を披露。続いて舞踊や楽器演奏などの発表を行った。</p> <p>参加者：約250人</p>				
企画・実施した人	昭和地区文化団体連合会				
苦勞した点	<p>コロナ対策のため、来場客の手指消毒・検温・住所記入を担当する人員を確保し、いつもより多くのスタッフ態勢で臨んだが、舞台出演者以外から選ぶことに大変苦勞した。</p> <p>また、コロナ対策のため、イスやドアノブなど、会場内外の高頻度接触部位の除菌清掃を業者委託したため、経費がかさんだ。</p>				
活動状況	 <p>コロナ対策</p>		 <p>生花展示</p>		
	 <p>オープニング</p>		 <p>舞台発表</p>		
活動の成果	<p>新型コロナウイルス感染対策のため、様々な工夫を施しながらの開催となった。完全に中止にするのではなく、工夫しながら規模を縮小して開催することで、新しい生活様式の中でのイベント運営を実施することができた。</p> <p>また、この事業を通じ、来場された方の感染予防意識も高まったように感じた。</p>				

番号	18	団体名	NPO法人 昭和地区まちづくり協議会	代表者	神田 晃典
事業名	ロビーピアノ in Showa			事業費	200,000円
事業の目的	<p>コロナ禍において自粛・縮小状況となっている地域の芸術文化活動について、まちづくりの視点から、ウイルスの感染防止対策をセットで実施することで、様々な地域活動の継続・発展をサポートしていく。</p> <p>今回、地元の音楽関係者の協力を得て、これまで実施してきたロビーコンサートの手法を一部変更し、ロビーで自由にピアノを弾くことのできる環境とともに音楽を通じた人と人とのつながりや心温まるひとときを創出するイベントとして開催する。</p>				
事業概要	<p>自由ピアノでは、技術のレベルにとらわれず、気軽にピアノに触れられることでまちづくりセンターに来場する楽しみの一つにさせていただく。</p> <p>こころピアノでは平素から音楽活動をしている地元アーティストを招いて、日頃聞くことの少ない生演奏で癒しの空間を提供する。</p> <p>自由ピアノ：令和2年10月6日～11月10日の平日11時45分～14時45分 予約不要で誰でも自由に弾くことができる。</p> <p>こころピアノ：地元出身の5人のアーティストに、日時を決めて20分程度演奏していただく。</p>				
企画・実施した人	NPO法人 昭和地区まちづくり協議会				
苦労した点	イベント告知の期間が短く、自由ピアノについては時間の制約もあったが、延べ60の方が演奏した。次回は告知を十分に行い、より多くの方にピアノに触れる機会を作っていきたい。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"> <p>自由ピアノ</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>こころピアノ</p>  </div> <div style="width: 50%;">  </div> <div style="width: 50%;">  </div> <div style="width: 50%;">  </div> <div style="width: 50%;">  </div> </div>				
活動の成果	<p>自由ピアノ・こころピアノとも見込みより多くの方にお越しいただいた。イスなど座る場所は設けなかったがアンケートを取ったところ、このようなイベントが昭和地区で催されることを喜ばれるご意見が多かった。</p> <p>今後もまちづくりセンターのロビー活用の視点からも様々なアイデアを取り入れ、まちづくり活動に取り組んでいきたい。</p>				

番号	19	団体名	NPO法人 昭和地区まちづくり協議会	代表者	神田 晃典
事業名	季節のイベント (ロビークリスマス in Showa)			事業費	300,000円
事業の目的	<p>コロナ禍において自粛・縮小状況となっている地域の季節イベントについて、まちづくり活動を継続的に支援する視点から、ウイルスの感染防止対策をセットで実施し、サポートする。</p> <p>今回、昭和地域で、音楽や子育て等にかかわって活動する個人や団体の協力を得て、街角でみられるクリスマスツリーやリースの飾り、楽しい音楽など、クリスマスの醸し出す雰囲気の中で、心のなごむひとときを創出する。</p>				
事業概要	<p>日 時：令和2年12月20日(日) 11時～16時 場 所：昭和まちづくりセンター1階ロビー</p> <p>企画も参加者も昭和地区在住もしくはゆかりのある方々によるものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ”ポンポンマスコット”や手作りマスクなどの販売 ・アーティストによるピアノやサクソ、ギターのミニコンサート <p>司会も地元の方に依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストリートピアノ ・英語で遊ぼう ・バルーンアート、クリスマスツリー ・絵本の読み聞かせ <p>※開催の様子はライブ配信 (Facebook) 及び翌月からの録画配信を実施</p>				
企画・実施した人	NPO法人昭和地区まちづくり協議会				
苦労した点	<p>コロナ感染防止対策のため、企画していた内容の一部を直前に取りやめ・変更をしつつも、連続したプログラムになるよう調整し、来場者に楽しんでいただける雰囲気を持って行くこと。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>ステージ司会者</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>ワークショップ</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>絵本の読み聞かせ</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>ピアノ連弾</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>サクソとピアノのデュオ</p> </div> </div>				
活動の成果	<p>コロナ禍での開催となりましたが、ご来場の皆さんが距離を保ちながら心温まるひとときを楽しく過ごされました。</p> <p>また、子育て世代の方が地域で活動するきっかけづくりの場として意義のあるイベントとなりました。</p>				

番号	20	団体名	郷原町まちづくり推進委員会	代表者	山本 英則
事業名	ふれあい・いきいきサロン			事業費	170,000円
事業の目的	高齢者が家庭や地域の中で孤立しないように、地域の人たちが定期的にまちづくりセンターに集い、高齢者が健康でいきいきとした生活が送れるよう地域全体で見守り支援する。				
事業概要	<p>平成21年度より70歳以上の高齢者を対象に月に1回開催。 時間：10時～12時（コロナウイルス感染拡大防止のため、時間を短縮） 内容：今年度は、コロナウイルス感染症拡大防止の観点により、6月から月の開催回数を増やし、1回の参加人数を少なくして分散開催を行った。サロンの歌、今月の歌、各種趣味講座等は中止として、健康体操やお誕生日会など感染対策を取った上で実施し、ステージイベント等を楽しんだ。 特徴：地元の団体と連携し、コロナ渦で出来ることから実施。 医療機関や警察・交通安全協会等の協力により講演会や生活安全指導を実施。参加者は、現在150人（うち協力員50人）が参加する市内最大のサロンとして毎月のサロンを継続している。</p>				
企画・実施した人	サロン運営委員会（地元自治連、民児協、女性会、運動推進の運営委員と各自治会から推薦された協力員の代表で組織）				
苦労した点	<p>高齢者のサロン参加（外出支援）を地域全体に広げるため、各自治会組織の協力員の組織化と地域リーダーの養成。 年度終りに翌年一年間の活動計画を運営会議により決定しているが、参加者を飽きさせない内容になるよう知恵を出し合っている。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>お誕生日会での花束贈呈</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>レクリエーション</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>交通安全教室</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>大正琴（ステージイベント）</p> </div> </div>				
活動の成果	毎月行われるこのサロンは、郷原全地区の方々が対象となっているため、近所の方との交流のみにとどまらず、日頃会話をすることのない人たちと交流を深めることができる。それにより、おたがいが理解しあい、楽しく、時には体を動かし、生きがいを感じる事ができる憩いの場となっている。				

番号	21	団体名	郷原町まちづくり推進委員会	代表者	山本 英則
事業名	郷原町花火大会			事業費	630,000円
事業の目的	今年度、実施予定であった「運動会」が、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となり、その他の様々なイベントも中止となる中で、子どもたちに貴重な夏の思い出を作ってもらうため、新型コロナウイルス感染予防の方針に沿って実施できる「花火大会」を行った。				
事業概要	郷原町で初めての花火大会を開催。 日時：令和2年8月10日（月・祝） 20時30分～ 打ち上げ場所：黒瀬川河川防災ステーション周辺 内容：仕掛け花火200連や、大小合わせて約130発の花火が上がり、郷原町の夜空を彩り、同時に郷原名物の城山に描かれている「火の用心」の大文字を照らした。				
企画・実施した人	郷原町まちづくり推進委員会 郷原小学校・中学校 P T A等				
苦労した点	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、来場者の感染防止対策や交通安全対策などに配慮が必要とされた。また、駐車場の確保や花火の打ちあげ場所の調整などに苦慮した。				
活動状況	 <p>花火とライトアップ</p>		 <p>花火鑑賞</p>		
	 <p>駐車場警備</p>		 <p>交通整理</p>		
活動の成果	町民運動会をはじめとして、さまざまなイベントが中止となり、子どもたちにとって、長い自宅待機の上、夏休みが短くなるなど、不安な状況が続いていたが、花火大会を開催することより、郷原町に「絆」と「活力」を取り戻すとともに、子どもたちにも貴重な夏の思い出を届けることができた。				

番号	22	団体名	下蒲刈地区自治会連合会	代表者	原田 敏信
事業名	令和2年度呉市下蒲刈地区成人式			事業費	103,910円
事業の目的	地域をあげて新成人を祝福するとともに、新成人自身の地域を担う自負と地域社会の一員としての自覚を促すため、式典及び茶会を開催する。				
事業概要	日時：令和3年1月10日（日）13時30分～15時 会場：蘭島閣美術館（式典），白雪楼（茶会） 内容：式典（はたちの誓い，近況報告） 記念写真撮影（新成人及び主催者） 茶会（新成人）				
企画・実施した人	下蒲刈地区自治会連合会				
苦労した点	「来賓の参加」と「はたちの同窓会」を取り止め、「国歌斉唱では発声しない」など，新型コロナウイルス感染防止対策に苦労した。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>受付</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>式典（主催者挨拶）</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>記念写真撮影</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>茶会（白雪楼）</p> </div> </div>				
活動の成果	コロナ対策で恩師の先生や来賓の参加を取り止めるなど，従来より規模を縮小しての開催となったが，新成人の新たな門出を祝うことができた。				

番号	23	団体名	下蒲刈地区交通安全推進協議会	代表者	吉川 宏夫
事業名	交通安全テント村及び交通安全キャンペーン			事業費	97,000円
事業の目的	春と秋の全国交通安全運動期間中に交通安全推進委員による交通安全テント村と、秋の運動期間中は下蒲刈保育所児童による交通安全キャンペーンにより、交通安全の推進を呼びかける。				
事業概要	<p>秋の交通安全テント村 日時：令和2年9月25日（金）7時～8時 場所：下蒲刈町見戸代交差点</p> <p>交通安全キャンペーン 日時：令和2年9月25日（金）9時～9時30分 場所：下蒲刈農村環境改善センター</p>				
企画・実施した人	下蒲刈地区交通安全推進協議会				
苦労した点	新型コロナウイルスの影響により春の交通安全テント村を中止したこともあり、秋のテント村の実施には検討を要した。 当日は降雨であったため、交通安全キャンペーンの実施場所を大津泊庭園駐車場から下蒲刈農村環境改善センターに変更することとなった。				
活動状況	  <p>交通安全テント村（見戸代交差点）</p>   <p>交通安全キャンペーン（下蒲刈農村環境改善センター）</p>				
活動の成果	活動を通じて、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を呼びかけることができた。				

番号	24	団体名	川尻町元気まつり実行委員会	代表者	沖田 徹
事業名	かわじり元気花火			事業費	1,336,516円
事業の目的	<p>2000年に安芸灘大橋有料道路が開通したことをきっかけに、川尻町内外に「かわじり」をアピールして、川尻町の魅力をさらに向上させたり、活性化につなげるために始まった元気まつりは、毎年11月の第3日曜日に開催し、毎年約5,000人で賑わっておりますが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、元気まつりを中止して、それに変わるものとして花火の打ち上げを実施しました。</p>				
事業概要	<p>日時：令和2年11月22日（日）19時～ 場所：川尻グラウンド</p> <p>新型コロナウイルスの影響により、様々のイベントが中止となっている中、地域に少しでも元気を届けるため、また、「コロナ退散！そして町民に笑顔を」の願いを込めて花火の打ち上げをしました。 密を避けるため、事前告知を行わず、シークレットで実施しました。</p>				
企画・実施した人	呉広域商工会青年部川尻支部・川尻町元気まつり実行委員会				
苦勞した点	シークレットで実施したため、後日、問合せや苦情がありました。				
活動状況	 				
活動の成果	<p>呉広域商工会青年部川尻支部の人達が打ち上げの準備をし、小雨の中、花火を打ち上げました。当日、見逃した人達もユーチューブで見れるように動画を掲載し、地域の活性化に寄与しました。</p>				

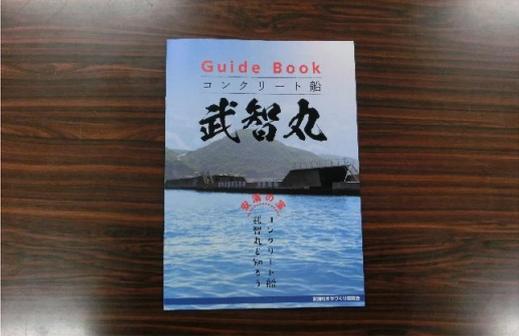
番号	25	団体名	音戸町まちづくり協議会	代表者	新谷 勝利
事業名	音戸ふれあい朝市			事業費	880,000円
事業の目的	住民同士のふれあいや、三世代が楽しく交流できる場を提供するとともに、町内にぎわいづくりと地域活性化、地産地消による食の推進を図るため、平成20年10月に第1回目を開催し、以降毎月1回、原則第1土曜日にふれあい広場（旧音戸町役場跡地）で開催している。				
事業概要	<p>日時：原則毎月第1土曜日 10時～11時頃</p> <p>場所：ふれあい広場（旧音戸町役場跡地）</p> <p>内容：新鮮野菜やタコ天、炊き込みご飯、細うどんなどの販売の他、プロ野球観戦券などが当たるお楽しみ抽選会や、保育園園児や小中学校生徒による歌や踊りの披露なども実施している。</p>				
企画・実施した人	音戸町まちづくり協議会				
苦労した点	<p>出店内容やイベントがマンネリ化しており、来客数が減少してきている。</p> <p>今年度は、特に新型コロナウイルス感染症拡大防止のための資材（クリアカーテン、消毒液スタンド、検温器などを購入し対策を施したが、開催できたのは、11月と12月の第1土曜日の2回のみでした。</p>				
活動状況	 <p>朝市開催風景</p> 				
活動の成果	<p>例年では保育園園児、地域の小学校児童によるミニステージをはじめ、音戸中学校生徒によるボランティアが当日の運営補助を担い、子供と地域住民の交流の場として幅広い世代が参加するイベントになっていたが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策として、園児、児童、生徒の参加を控え、2回の開催に留まった。</p>				

番号	26	団体名	宝島くらはしまちづくり協議会	代表者	中田 正志
事業名	くらはし観光ボランティアガイドの会ジュニアクラブ養成事業			事業費	60,000円
事業の目的	倉橋町の史跡や名所のガイドができる子供ガイドの育成を図る。				
事業概要	<p>日 時：令和2年7月29日（水） 9時30分～12時30分</p> <p>参加者：くらはし観光ボランティアガイドの会会員2名，倉橋中学校1年生14名，担当教員3名，新聞テレビ関係者5名，計24名</p> <p>内 容：今年くらはし観光ボランティアガイドの会ジュニアクラブに入会した倉橋中学校1年生14名が，ガイド研修として，6月に日本遺産の文化財として追加認定された「亀ヶ首試射場跡」に船で上陸し講師（ボランティアガイドの会会員）から遺産についての説明を受けた。また海上から倉橋島の景観を体感し，歴史や文化，産業を習得した。</p>				
企画・実施した人	くらはし観光ボランティアガイドの会，倉橋中学校				
苦勞した点	特になし				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>遺跡を見学する</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>講師から遺跡の説明を受ける</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>海上から島の景観を望む</p> </div>				
活動の成果	<p>①子供ガイドとしての技能や心得を習得した。</p> <p>②郷土に関心を持つきっかけとなった。</p>				

番号	27	団体名	宝島くらはしまちづくり協議会 (お宝朝市部会)	代表者	中田 正志
事業名	くらはしお宝朝市			事業費	144,089円
事業の目的	新鮮で良質な農水産物をはじめとする倉橋町の特産品を販売することで、地元の農業・漁業・商業の振興を図るとともに倉橋町の活性化を目的とする。				
事業概要	<p>日時：毎月最終日曜日 8時30分～11時頃 場所：倉橋桂浜温泉館万葉の里駐車場 内容：①地元特産品等の販売 野菜・果物・鮮魚・ちりめん・牡蠣・コーヒー・パン・焼いも等 ②お楽しみイベント お買い物スタンプラリー（毎月） かけそうめん無料サービス（7, 8, 9月） にゅうめん無料サービス（10月） とん汁無料サービス（11月） ぜんざい無料サービス（12月） 勝ち抜きじゃんけん大会（7, 8, 9月） 輪投げ（11, 12月） ヨーヨー釣り（11, 12月） 石地みかんの無料配布（11月, 11周年記念イベント） 紅白もちの無料配布（12月, 年末イベント）</p> <p>※4月, 5月, 1月は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止。 6月は雨天で中止。</p>				
企画・実施した人	漁協, 商工会等の団体と地元の特産品販売店が中心となって企画し, 市職員が協働で実施する。				
苦勞した点	①集客方法 ②新型コロナウイルス感染症対策				
活動状況	 <p>会場内</p>  <p>ガラポン抽選会(お買い物スタンプラリー)</p>  <p>紅白もち無料配布</p>  <p>輪投げ</p>				
活動の成果	倉橋町の特産物を, 町内外へPRできた。				

番号	28	団体名	蒲刈地区自治会連合会	代表者	谷村 浄
事業名	令和2年度 蒲刈地区成人式			事業費	166,124円
事業の目的	おとなになったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝う。				
事業概要	<p>日時：令和3年1月10日（日）10時～ 場所：蒲刈市民センター 内容：式典 （開式の辞、国歌斉唱、主催者挨拶、来賓祝辞、成人者紹介、記念品贈呈、20歳の誓い、呉市歌斉唱） 記念講演（講師 呉農協代表組合長 三戸 正宏 演題「人生について」） 記念撮影 記念植樹（県民の浜に記念碑を設置し河津桜を植栽した） 参加者数：新成人 9名 司会：まちづくりサポーター</p>				
企画・実施した人	蒲刈地区自治会連合会				
苦労した点	コロナ禍のため、検温消毒を徹底し席の間隔を広くとり、例年と比べ時間を短縮して開催した。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>参加者の検温・消毒</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>20歳の誓い</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>記念撮影</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>記念植樹</p> </div> </div>				
活動の成果	コロナ禍の中、開催が困難と思われたが、恩師や保護者も参加し穏やかな雰囲気の中で開催し無事終了した。				

番号	29	団体名	安浦町まちづくり協議会	代表者	田中 敏弘
事業名	安浦町地域博物館事業			事業費	約200,000円
事業の目的	山本譲氏の風景画約400枚をもとに平成29年度から取りかかった「安浦地域博物館構想」実現のためウォーキングマップを作成				
事業概要	<p>南薫造記念館で平成28年頃、山本さんの水彩画約400枚が見つかりました。昭和40年代を中心に子どもの頃の風景や今はない祭り、江戸時代の海岸線、人々の暮らしなどの様子が描かれています。題材に描かれた場所を調べ、絵につながる地域の有形・無形資材を再発見し、消えてしまう歴史の記憶を後世に残す「安浦町地域博物館構想」として、記録資料化に努めています。</p> <p>その実現のため、南薫造記念館を起点に、内海地区一帯を描いた30点を選び、その地点を地図上で確認できるようウォーキングマップを作成しました。</p>				
企画・実施した人	安浦町まちづくり協議会 事業企画部				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・地図に掲載する水彩画の抽出に苦労しました。 ・水彩画に描かれている地域が現在のどこにあたるのかを調べるのが困難でした。 				
活動状況	  				
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・昔の風景と今の風景を比べて、今昔の感を共有して、これからのやすうらのにぎわいを創造する一助となりました。 ・マップを使った散策ツアーの企画、地域の良さを再認識する資料となりました。 				

番号	30	団体名	安浦町まちづくり協議会	代表者	田中 敏弘
事業名	コンクリート船武智丸パンフレット作成事業			事業費	132,000円
事業の目的	これまでまとまった資料がなく、見学者には安浦町史をコピーするなどして説明していたので、説明・学習資料として作成した。				
事業概要	<p>旧海軍のコンクリート船武智丸は、鉄などの物資が不足していた戦時中に、兵庫県高砂市で造られた貨物船。</p> <p>安浦町の漁業者からの要望により、1950年2月、2隻を連ねて防波堤に生まれ変わりました。地盤が軟弱で防波堤が建設できず、水害に悩んでいた地域を現在も「水の守り神」として守っています。</p> <p>世界的に珍しい「コンクリート船武智丸」をみなさんに知っていただくために作成しました。</p>				
企画・実施した人	安浦町まちづくり協議会 事業企画部				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> ・資料収集 ・説明文の作成 				
活動状況	 				
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・防災，戦争，歴史のいずれの観点でも教材になりました。 ・見学者の説明資料として，好評を博している。 				

番号	31	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一
事業名	伝統的料理の教室			事業費	78,000円
事業の目的	豊浜町の食材を使った伝統的な料理や特産品開発などで豊浜町の味を多くの方にPRしていく。				
事業概要	<p>豊浜町の食材をPRしていくため、鯛やレモンなどを使用した特産品の開発及びふるさと納税の返礼品でひじきとレモンの詰め合わせ、タチウオの一夜干しを出展する。</p> <p>出展にあたり、広島国際大学とのコラボでひじきとレモンを使った料理のレシピを開発する。</p>				
企画・実施した人	<p>豊浜町まちづくり協議会のワーキンググループのメンバー 豊浜町地域住民 豊浜町地域おこし協力隊 広島国際大学</p>				
苦労した点	ふるさと納税の返礼品には金額の設定があるため、金額に合わせてた特産品の組み合わせに苦労した。				
活動状況	返礼品（ひじきとレモン） 		返礼品（タチウオの一夜干し） 		
	返礼品（発送準備）  		特産品開発（鯛のカルパッチョ） 		
活動の成果	ふるさと納税の返礼品の注文もあり、豊浜町の特産品のPRができた。				

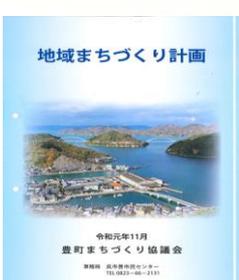
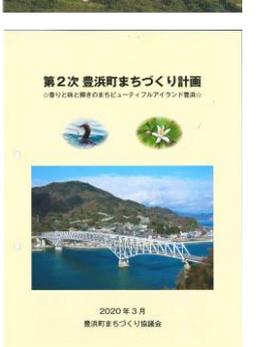
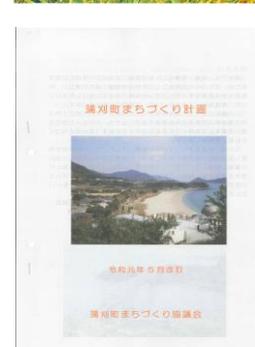
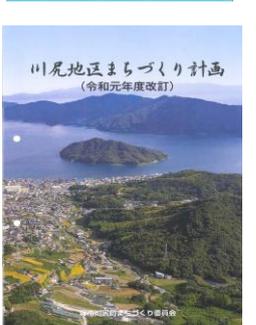
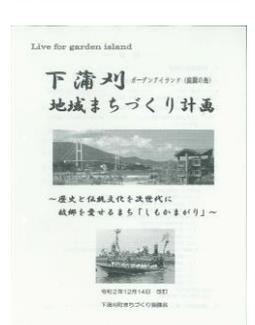
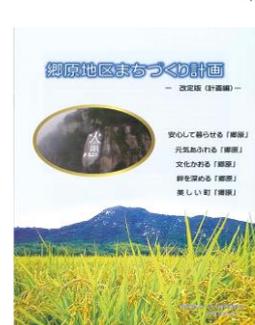
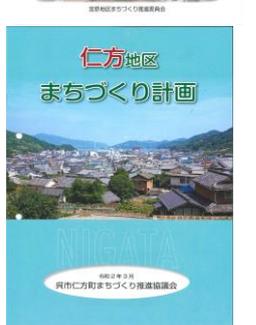
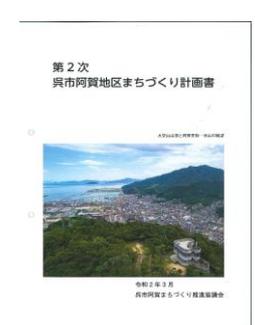
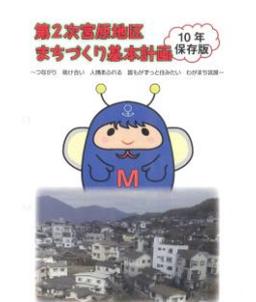
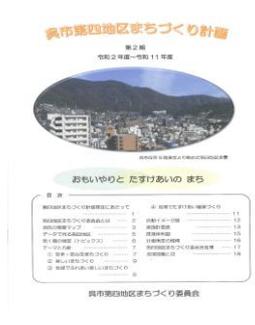
番号	32	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一
事業名	歩け歩けウオーキングコース			事業費	189,000円
事業の目的	町内を巡るおすすめを紹介し、年齢・体力・趣味に合わせて歩いてもらうことにより、自然や町とふれあう機会を作ります。				
事業概要	四国五郎の風景画と同時に現在の写真を展示して、豊浜町の風景を地域住民に再認識してもらうとともに、町外の方にも豊浜町の魅力を感じてもらうため、四国五郎の絵の冊子を作成し広く豊浜町のPRをする。				
企画・実施した人	豊浜町まちづくり協議会				
苦労した点	絵と同じ風景の写真を写すのに、苦労しました。枚数の調整に絵と写真の展示を、3回に分けて行ったこと。				
活動状況	<p>四国五郎の風景画の展示</p>  <p>豊浜町風景画の冊子</p> 				
活動の成果	豊浜町の風景や四国五郎の絵を展示したり、冊子として残すことにより、地域住民や地域外の方にも幅広く豊浜町の魅力をPRできた。				

番号	33	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一
事業名	農業・漁業体験事業			事業費	75,000円
事業の目的	みかん狩りなどの農業体験，ボランティアによる農業収穫支援，魚のさばき方教室，釣りなどの漁業体験を行い，豊浜町の産業を知ってもらい交流などを行います。				
事業概要	<p>漁業体験事業の魚さばき方教室は，豊浜産の鯛・サザエを地元の方の指導でさばいて試食する事業です。 開催日：令和2年8月1日（土） 参加人数：6名 メニュー：鯛，サザエの刺身 *2回目（10月4日）はコロナウィルスの影響で中止（参加予定者6名）</p> <p>農業体験事業の柑橘収穫ボランティアは，収穫することのできない農地のみかんをすべて収穫することで，来年も収穫できる農地を残し，農地を守る事業です。 開催日：令和2年12月1日（火） 参加人数：13名 開催日：令和2年12月5日（土） 参加人数：13名</p>				
企画・実施した人	豊浜町まちづくり協議会 豊浜町地域住民				
苦労した点	<p>漁業体験事業（魚さばき方教室）はコロナウィルスの影響のため，少人数で実施することにしたが，多数の応募者があったので再度実施するため公募したが，コロナウィルスの影響で中止になって残念でした。</p> <p>農業体験事業は，昨年度の半数で2回実施したが，多数の応募がありすぐに定員に達し参加できない方がおられた。</p>				
活動状況	<p style="text-align: center;">魚さばき方教室</p>  <p style="text-align: center;">柑橘収穫ボランティア事業</p> 				
活動の成果	<p>魚のさばき方教室では，地元の方の指導で一生懸命にさばいた鯛とサザエを試食し，楽しく交流ができ，豊浜の味のPRができた。</p> <p>柑橘農家支援ボランティアに参加された皆さんは，一生懸命にみかんを収穫し自然を満喫していた。豊浜の魅力のPRができた。</p>				

番号	34	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一
事業名	ふれあい・いきいきサロン・敬老会・ちょっとてご助成事業			事業費	109,000円
事業の目的	<p>地元高齢者が広島国際大学とコミュニケーションを持つことで、自分自身の健康状態を把握し、健康に関する意識を高め、いきいきと暮らしていける生活を送ることを目的とします。また、広島国際大学とのコラボで事業を行います。</p>				
事業概要	<p>広島国際大学による健康チェック、健康講座、健康体操を行い地元サロンの方との交流を行い元気なまちづくりに取り組みます。</p> <p>第9回瀬戸内イキイキプロジェクト 開催日：令和2年12月19日（土） 参加人数：町内サロン6名、広島国際大学17名 健康講座：コロナウィルス対策</p> <p>瀬戸内イキイキプロジェクト 健康体操「わらって生きよう」を収録して、ケーブルテレビで放送することによって 高齢者の健康づくりに貢献する。</p> <p>広島国際大学の協力で、ひじきとレモンのレシピ本を作成しふるさと納税の返礼品に添付し、豊浜町の特産品のPRに貢献します。</p>				
企画・実施した人	<p>豊浜町まちづくり協議会 豊浜町地域おこし協力隊 豊浜町各サロン 広島国際大学</p>				
苦労した点	<p>12月にはいりコロナウィルスの感染者が呉地区で増えたため、サロンの方が集まらなかったことです。</p>				
活動状況	<p>第10回瀬戸内イキイキプロジェクト</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>瀬戸内イキイキプロジェクト (収録によりCATVで放送)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>レシピ本作成</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>(わらって生きよう) あしたを信じて</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>				
活動の成果	<p>広島国際大学との関係がサロン以外にも連携などの協力体制ができてきた。</p>				

番号	35	団体名	豊町まちづくり協議会	代表者	本末 満
事業名	豊町成人式			事業費	145,885円
事業の目的	豊町まちづくり協議会策定「地域まちづくり計画」の振興方針「人々の心がふれあう「ゆたかまち」をつくろう」に基づいて地域の新成人の門出を祝う。				
事業概要	<p>日 時：令和2年8月15日（土） 10時～</p> <p>会 場：豊まちづくりセンター 堀端ホール</p> <p>内 容：1. 式典（開式の辞、国歌・市歌斉唱、成人者紹介、式辞、来賓祝辞、記念品贈呈、答辞、閉式の辞）</p> <p>2. アトラクション（巻きわら謝礼・記念コンサート）</p> <p>3. 記念撮影</p>				
企画・実施した人	豊町地区社会福祉協議会，豊町まちづくり協議会，豊市民センターが中心となり，豊まちづくりセンターの協力のもと開催した。				
苦労した点	コロナ禍ということで，感染拡大防止対策に細心の注意を払ったこと。				
活動状況	 <p>9名の新成人紹介</p>		 <p>式 辞</p>		
	 <p>答 辞</p>		 <p>巻きわら謝礼</p>		
	 <p>記念コンサート</p>		 <p>記念撮影</p>		
活動の成果	地域成人式を開催することで，地域の新成人の門出を祝い励ますとともに，地域コミュニティの充実を図ることができた。				

(参考) 地域まちづくり計画



地域の共有する夢（地域の将来像、地域課題の克服等）の実現に向け、おおむね5～10年間で取り組むべき地域の構想で、地域住民の総意に基づいて住民自身（まちづくり委員会）が策定したものです。
この計画に基づき、地域自らが主体となったまちづくりが進められています。



ゆめづくり事例集2020

発行：令和3(2021)年2月

編集：呉市市民部地域協働課
各市民センター

